

## 元寮生・訓練生は今・・・



元気かな～



2021年3月に退所した訓練生30期K君に、合宿に参加した経緯、参加中の様子、退所後について話を聞きました。

参加したきっかけは、仕事を辞めて何もしていないボクに、働いてる妹から「これ行きなよ～」と言われたから。参加してみた印象は、意外と馴染みやすかった。自分と似たような感じの境遇（方向性が定まっていない）の人がいて、一人でやるよりはいいな、と思った。

苦手だった作業は、厨房の排水清掃。臭いがキツかった。癒された作業は月1回の里山保全活動。里山感、手入れされた山がよかった。普段、夜はよく同期が何も無いボクの部屋に集まって飲んだり話したり、一緒にコンビニにでかけたついでに夜間散歩をしたりしていた。

職場実習は、引田屋（定食屋）→栗原園（茶の製造加工）→石川酒造→ロジファク（物流）。最後、アルミ加工の実習先に1週間ほど行き、退所後福生でのひとり暮らしを考えたが、踏ん切りがつかなかった。

ボクは、就労中の妹・弟と大学生の妹の4人きょうだい。正社員にこだわる父親からは、家に金さえ入れれば戻ってきてもいい、と言われ、母親からはとりあえずバイトでもいいから働きなさい!と言われ、正社員にこだわるすぐ下の妹からは、お兄ちゃんはとりあえず家を出ろ!放り出せばなんとかなる!と言われ、実家に戻ってお金を貯めた方がいいのか、とりあえず一人暮らしはどうだろう?会社の寮はプライベートがないかも?など、コレといってやりたいことがないと、何も選べず結局実家へ戻った。

その後、自然関連の仕事に就きたいと、庭の手入れをする正社員求人に応募したら、街路樹をバッサバッサ伐る仕事で、違うな・・・と思い2か月で退職。父親の紹介?強制?で始めたコロナ関連の消毒の仕事は期間限定で最後までやりきったが、父親と一緒にだったので働きづらかった。正直、仕事のモチベーションは強制力(笑)。手を抜けない性格なのでちゃんとやるが、強制力がなくなればそれまで。

退所後も報告程度に多摩サポに来ていた。知っている人がいて色々話せる所だが、家から距離があり、多摩サポに来るには交通費が往復千円かかる。すると必ず、何をしてきたのか、と家族から成果を求められるので、なかなか足が向かない。親はハロワを勧めてくる。出かけて成果がないと家族からの圧が強くなり、家族への言葉数も少なくなった。最近父親が長野に山を買おうとしており、そのうち父親とボクは山に送られそうな予感。とりあえず家を出ていけ!という圧が強まっている。今、寮付きの焼き肉屋と近所の工場の求人に関心がある。

一見ほんわかしているけれど、独特な空気感と時間が流れている愛されキャラK君。社会とK君との折り合いがつかない生き方、働き方と出会えますように。たまには多摩サポにうっぶんを晴らしに来てね。

### ◆今月の寮生・訓練生の内訳◆

【年齢】16歳～41歳 【平均年齢】26.1歳

【状況】寮生3名が内部での作業訓練から職場実習へ移行しました。

【ハッピー報告】39期1月生のK君が実習先に採用され、予定より25日早く退所しました。まずは週4日からですが、自宅からも遠くないので、長く続いて、次に実習に行く後輩の良いお手本になってくれるといいなと思います。

### ◇編集後記◇

7月8日(土)・9日(日)に第70回福生七夕まつりが4年ぶりに開催されます。例年、スタッフ・寮生ら総出で、焼きそば・焼き鳥などの市民模擬店を出します。YSCの出店場所は旧けるん(福生市本町94-9)の向かって右(南)側の駐車場です。両日共13時～21時の開催です。ぜひみなさん遊びにいらしてください♪

### 今月の1枚



月1回福生支所(多摩サポ・けるん・ジョブ・本部)のスタッフと利用者で共同作業しています。